

「令和3年度鹿児島県の看護と政策を考える意見交換会」アンケート意見

1. 今回の研修参加動機を教えてください。(複数回答)

- ①講師が良いから ②テーマに興味があった ③上司の勧め ④その他
- ④：看護連盟の研修会だから
- ②：是非「コロナ病」について現状を知りたかったので参加
- ④：役割として

2. 研修内容は理解できましたか？

- ①よく理解できた ②理解できた ③どちらともいえない
- ④あまり理解できなかった ⑤理解できなかった
- ①：これから使えると思う
- ②：コロナ禍における法律が追加になったことを学ぶことができたこと。他施設でのコロナの状況を知ることができたため。
- ②：看護をするうえで政策は欠かせないものだと理解できたから。
- ②：コロナの現状やワクチンについて理解できた。
- ②：コロナ患者対応受入の準備、実施、受け入れによる弊害、配慮、必要なことなど。
- ②：音声が少し悪かったですが資料が分かりやすかったので良かったです。

3. 今回の研修は、今後の実践に役立つと思いますか？

- ①大いに役立つ ②役に立つ ③どちらともいえない
- ④あまり役に立たない ⑤役に立たない
- ②：コロナについて学ぶことができたため、感染防止の必要性について改めて学んだため、役立てたいと考えたため。
- ②：病棟の中でより良い看護を考えるきっかけとなった。
- ②：感染者が少なくなり気のゆるみそうな時もあるが、感染に対して気を引き締めようと思った。
- ①：第6波の時に役立てるため参考となった。
- ②：感染防止対策に対する気持ちが更に向上した。

4. 今後の「看護と政策を考える意見交換会」内容への希望があればお聞かせください。

- その時々での現場の状況を聞けるのが良い。小さなグループでのグループ討論も良いかもしれません。
- コロナワクチンの副反応等による救済について。接種後死亡した場合、因果関連不明とある。どのしべんまで備えれば4000万円の補償が受けられるか。
- 岸田政権の看護報酬の見直し（賃上げ）の効果に関するもの。
- 現場のアンケート報告良かった。
- 活発な意見交換がもう少しできれば良かったと思います。
- 処遇の改善、スタッフの充実を早く実現させる為への政策提言をしてほしい。
- 友納さんのDVDはON TIMEではなかったと思います。案内にDVDと記載しておく必要があったのではと思います。
- 看護師のアンケートや発表を聞かれて、今後どのように政策を考えていかれるように、ご意見を出席されている議員さんの声をきかせてください。一方的にならないようお願いします。
- 5分でいいので休息が必要だった。
- 議員の方々にもっと現場の状況を。
- 各病院の現状や声を聞くことで共感すること、分かったことがありました。
- 県内と県外、国の医療体制について考え、方向性の違い格差があることについての今後県取組状況。
- 看護師の潜在状況の把握をする必要があると思われます。把握と共に缶ケートを送付し理由やどうしたら仕事に就こうとするのか。
- 現場の声が議員の方々へ伝わり反映されていく事を願います。

5. リモート配信 (CiscoWebex) について意見があればお聞かせください。

○良かった。

○集合とリモートなので参加しやすかったです。

○実際目の前で講演を受ける方が音声等について受け入れ易く、理解しやすいと思いました。でも、遠方からであれば良いと思います。

○音の調整がむずかしく聞きにくいところがありました。

○リモートで研修を受ける為に WEB 環境がもっと充実すると良いと思います。職場のネットが繋がりにくいです。

○声が聞きずらかった。

○司会や発表者の声が割れた様に聞こえ、聞きずらかったです。

○音声の聞き取りにくい箇所があったため音声をききとりやすくして欲しいです。

○リモートにより所々声が聞き取りづらい場面がありました。

○発表内容が聞き取れない事があったが、資料配布があったので理解はできた。できるだけ時間内に研修を終わるようにしてほしい。

○もっと音声が良いと聞きやすいと思った。特に質疑応答は早口で何を言っているのか分からなかった。

○少し声が聞き取りづらい事があった。

○マスク着用のためか声が聞き取りずらかった。マイクの電池が切れそうになるととぎれとぎれになりやすいため、ご注意ください。

○映像はとても良かった。音声の語尾が乱れて、初めから聞き取りづらい所が多くありました。

○音声の途切れることがあり、聞き取りにくいことがあった。

○参加に時間を要してしまった。操作が難しかった。

○入室までかなりの時間を要しました。Webex ダウンロードしてもうまくいかなかった。前準備をしておくべきだった。

○わかりづらい。普通の ZOOM にしてほしい。

○聞きづらい所もあったが、リモート研修はありがたいです。

○ハウリングが少し気になりましたが、発表された内容はとても良かったです。鹿児島市内までは数時間かかるので助かりました。

○会場への移動がなく、大変助かります。

○事前の資料送付は大変有難かったです。音声が時々聞き取れない状況になることがあり残念でした。

○音声の状況で聞き取りにくい部分がありました。休息も設けてほしい。

○マイクのハウリングのせいか音声が割れて聞こえにくかったです。リモートで参加し学ぶ機会を頂けて嬉しかったです。ありがとうございました。

○発表者の声が聞き取りにくかったです。

○音が途切れ声として聞き取るのが難しかったです。

○西先生の声が聞き取りづらかった。時々講師の方の音がマイクで聞き取っていたから？割れていた。

○講演以外の意見交換会時の声が聞き取りにくい時がある。

○私達離島の看護師や介護士は中々本土への研修に行けない状況です。同じ 5000 円の研修でも旅費・宿泊費が加算、日数(時間)も倍以上を要するためリモート配信は大変有難かったです。

○意見交換会の声が少し聞き取りにくかったです。

○移動にかかる時間を考えずにすみません。慣れた環境で落ち着いて参加することができました。

○こちらの問題もあると思いますが音声が聞き取りにくかったです。

6. 看護連盟ではいろいろな機会を通して「現場の声」をお聞きしています。

現場の問題や要望などお気づきの点をご記入ください。

- 現場の声をもっと聴く場が欲しい。
- コロナウイルス感染症について前回に続いて最新の情報を西先生からお聞きできました。また、現場（看護師さん）の生の声をお聞きできましたので、貴重なご意見を生かせるよう議員活動に微力ですが生かしていきたいと思います。
- ワクチンハラスメントの問題（医療従事者が接種するリスク：オックスフォード大学によると患者へ医療従事者がコロナをうつすリスクは接種した方が15～6倍リスクが高くなるとの報告があるが本当か？ワクチンパスポートについて：矛盾しているといえないか？接種者も非接種者もウイルスに感染するウイルス量は変わらないのであれば他人にうつすリスクは同等であり、接種者だけを優遇する意味がわからない。
- 今後も現場の声をしっかりと提案してほしい。3名の現状報告は大変良かった。
- 各立場からの現状報告を聞き、自施設の業務内容や看護配置について考えるよい機会となりました。また、職員のメンタルサポートをしっかりと行い、皆で協力し合える職場作りに努めていきたいと思いました。
- 本日の研修時間内の内容が盛りだくさんだったと思います。途中の休憩時間も設けてもらえたらと思いました。「看護現場の現状報告」大変心打たれました。
- 医療の業務など、いろいろ業務委託ができるようにしてほしい。
- 3名の現場の現状について多忙な中、資料準備等大変かと思いますがありがとうございました、県内も規制が緩和され、医療現場も一瞬の‘なぎ‘の状態にあると思います。感染予防対策を続け続けていきたい。コロナ禍で看護界の現状が露呈されたかと思います。良い方向へ改善、改革でき看護界が発展して行けばと思います。
- 育児時短者が多く、夜勤ができる看護師が減少しているため、夜勤日数の増加。どこの病院も人材不足ということは病院が多すぎるのでは？そうそう病院のあり方を検討し（地域医療構想？）でいかないと共倒れになるのではないかと危機感を覚える。医療圏毎の公立病院（県立病院のような）設立と精神科病院は全て公立病院に転換（医療圏毎）に再編して医療の集約をしたらどうかと思います。そうすれば人材確保、一定の医療の水準が保てるのではないかと考える。
- 人材不足が大きい→管理者もスタッフもつらい。コロナ病院となりスタッフ退職もいたため残ったスタッフへの負担が一時あった。ワクチン接種も対応に負担も一時大きかった。
- 各病院でのコロナの受け入れ状況の実態、感染対策状況を直接知ることができ大きな学ぶとなりました。ありがとうございました。
- 連盟でなければできない研修でした。今後も続けてください。
- コロナに対する診療を実施している看護師の給与があがる事になると聞き、負担の大きい看護師さん達に良い知らせと思っています。しかし、一部の方へとなると手当でもらう事になり、感染が終息すると元に戻るのかと思います。今後、看護師の給料表の見直しや特別な資格や業務に対する手当の基準ができると良いと思います。
- 今までも現場の問題や要望を記載しているが何も変わっていない様に感じる。特に民間施設に対しては。
- コロナ禍でコロナ病棟に応援に行ったスタッフがおおり、他のスタッフで病棟内をカバーしないといけなくなったため、コロナ病棟だけでなく、他のスタッフへの配慮もして欲しいです。（人材不足）
- 現場の問題：人員不足による残業、患者への対応不足、スタッフの疲労感の増大、患者の人数に対してスタッフが足りていない。（緊急入院、転院も含めて）
- 育児を行いながら現場復帰してくれるスタッフが増えているが、そういったスタッフをサポートする上ではやはり人材不足を感じるとともにサポートするスタッフへのケアも必要と考えます。患

- 者へのケアにもつながるように看護師不足が解消できるような政策及び実現をお願いします。
- 看護師の給料を上げてほしい。時差勤務や夜勤業務も多く、心身共に疲れてしまうため。
 - 交替勤務による体や心の負担は大きいと感じます。健康に長生きできるよう対策を考えていただきたい。意識がないまま経管栄養とか患者が望む生き方なのだろうかと思ったり感じます。
 - 職員の高齢化が増え、若い職員の確保がとても困難です。看護職が働き続けられるよう子育て支援の更なる充実を望みます。定年を迎えても働けるよう研修等を計画して欲しいと考えます。
 - 家族の面会を現在、制限を加えながら開始していく予定で進めていますが第6波到来の危険性もあり難しい（解除が）看護学生の方でワクチン接種を受けない学生がいて、受け入れをどうするか対応に苦慮しました。
 - 看護学生の受け入れに関して受け入れができない施設があり、困っていると学生側からの訴えがあった。今後どのように学生を受け入れていくか（学生に対する補助、支援、ワクチンの優先実施等）
 - 看護職員、看護補助者の人員確保が大変難しい。この状況でコロナ対策を行うのはコメディカルの方達の応援をもらいながらでした。介護職の方だけでなく病院で働く看護職員にも給付金が支給されれば看護職に就く方が増えるのではないかと感じます。
 - 看護師不足は永遠の課題ですが、給与や働き方改革などで対応できるところは対応してほしい。シニアになると業務内容の量は変わらないのに給与やボーナスが減るのは如何なものかと考える。特定看護師の活用方法を本来の目的に戻すべきではないか。（地域医療への貢献、在宅医療支援）
 - 人材確保に苦慮しています。また、看護師や看護補助者等、夜勤ができるスタッフが不足しているため必然的に夜勤回数が増えています。
 - タスクシットと言われるが人材不足で限界がある。鹿児島で働きたいという県の取り組みを早急にしてほしい。
 - 沢山の講演を聞き、大変頼もしくまた、友納さんの様な方がいらっしゃる心強く感じました。看護師の重責を共に乗り越える方がいる事で看護師が増えると思われたいです。やはり、子育てをしながらでも仕事を出来る体制作り（当医院、部署、通所リハではパートスタッフがすぐに変えられるよう半日（10～14時）等シフトを多様化して行っています。また、情報の共有化や夕方のミーティングにて皆で決定事項を決めたりと重責を負わないよう行っています。
 - コロナ禍において看護の現場の現状が痛切に伝わってきました。看護教育の現場においても実習が行えず学内実習に切り替えたりと教員も混乱しながら乗り切ってきました。そのことがわかってほしいです。
 - スタッフは感染対策に頑張っていて周囲にも気を使い我慢してくれています。少しでも休めてリフレッシュできる機会をつくってあげたいです。